慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2017
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.34, (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20170000-0415

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

慶應義塾大学医学部は二〇一七年、開設一〇〇周年を迎えた。本誌ではこれを記念して「慶應義塾大学医学部設置一〇〇年」と題する特集を組んだ。一橋大学の友部謙一氏からは「近世・近代日本の花柳病（梅毒）・死流産・出生力の因果関係をめぐって―慶應義塾、その可能性の中心に―」、北里研究所北里柴三郎記念室の森孝之氏からは「北里柴三郎を支えた福沢諭吉」、同じく北里柴三郎記念室の大久保美穂子氏からは「北里柴三郎記念館の開館」、慶應義塾大学の鈴木晃仁氏からは「イギリスにおける精神医療の歴史研究」、と題する意欲的な論考を、それぞれご寄稿いただいた。心より御礼申し上げたい。

また、二〇一七年一〇月二〇日・二一日に開催されたシンポジウム「東アジアの近代とアメリカ留学」の講演録として、Fernanda Perrone氏のご講演、高木不二氏、容應萸氏、崔徳寿氏のご報告を収録した。ご参照されたい。

一般公募論文は、論説三本、研究ノート二本が査読の結果、掲載されることとなった。テーマは多岐にわたり、近代日本の諸相を探るものとなった。資料紹介として、韮山県から慶應義塾への派遣留学生についての資料と、高橋誠一郎文部行政関係資料、また例年通り、福沢諭吉関係の新資料紹介、および明治期慶應義塾への朝鮮留学生に関する資料を収めた。

本誌は、近代日本研究をめぐる知的フォーラムとして、今後も慶應義塾内外に開かれた場を提供していきたい。次号は二〇一九年二月刊行予定である。多数の意欲的な論考の投稿を期待する次第である。